

前回会議等での意見と修正の概要

通番	ページ	意見	修正概要
1	5	「尾張旭市の魅力と今後求められていること」のまとめ方に関する記載は、市の考え方をもう少し具体的に記載した方が、市民にとって分かりやすい。 (庁内意見)	市の考え方を具体的に記載した。
2	8	少子超高齢化の変化が分かるよう「将来人口推計」のグラフに年代別の内訳を記載した方が良い。 (第2回策定検討会議)	「将来人口推計」のグラフに年齢4区分別の内訳を追加した。
3	14	「第2章 尾張旭市の特徴」の③緑・水辺における「魅力的な公園があるまち」には、公園の写真だけでなく、身近な公園に対する満足度が高いことを示すために、市民の満足度に関する資料を掲載した方が良い。 (庁内意見)	市民アンケート「これまでのまちづくりの評価（現在の満足度）」のグラフを追加した。
4	16	「徒歩圏内に生活利便施設が揃っているまち」の図面は、商業施設、医療・福祉施設、子育て施設などの具体的な施設の位置をポイントデータとして表示し、視覚的に分かりやすくした方が良い。 (第2回策定検討会議)	商業施設、医療・福祉施設、子育て施設などの位置をポイントデータとして表示した。
5	21	「今後求められていること」には商業・工業の記載があるが、農業の記載がない。農地は都市の緑としてだけでなく、産業という側面もあるため、農業に関する記載があった方が良い。 (第2回策定検討会議)	「今後求められていること」の農業に関する取組として、「地域農業者の支援」が必要であることを追加した。
6	22	「工業集積・企業進出の支援と働く場の創出」では、「通勤の状況」の図に加えて「昼夜間人口比率の周辺都市比較」のグラフを掲載し、市民の働く場の多くが市外にあることを表示することで、市内に働く場所を創出する必要性を、市民に分かりやすく伝えることができる。 (庁内意見)	「通勤の状況」の図に加えて「昼夜間人口比率の周辺都市比較」のグラフを掲載した。
7	23、24	「前計画の検証」は、第1章「はじめに」に記載するのではなく、第2章「尾張旭市の特徴」に掲載し、検証のまとめを加えることで、尾張旭市の現状や課題が明確になり、構成が分かりやすくなると感じる。 (第2回策定検討会議)	「前計画の検証」の掲載箇所を第2章「尾張旭市の特徴」に変更し、検証のまとめを加えた。
8	30	「まちづくりの理念」に使われる公園都市という言葉は、市民が感じる魅力を反映させた言葉で良い。一方で、公園都市とはどのような都市の状態を表すのかは、再度検討の必要がある。また全体が公園だと言える伝え方などの工夫があった方が良い。 (第2回策定検討会議、学識経験者意見交換会)	まちづくりの理念に関する説明内容を見直し、「素晴らしい財産を未来へ引き継ぐこと」「一人ひとりの主体的な活動がまちじゅうで行われることで、自分らしさが実現され「楽しさ」「居心地の良さ」「にぎわい」を生み出すこと」「緑豊かで美しく、人と人のつながりから生まれる幸福感によって、笑顔があふれる、公園のような都市を実現すること」を理念として記載した。 また、この理念を視覚的にも市民に分かりやすく伝えるため、都市全体のイメージ図の作成に取り掛かっている。
9	33～35	将来フレームの「フレーム」という言葉は、市民にとって分かりづらいため、日本語に置き換えて記載したほうが良い。 (第2回策定検討会議)	「将来フレーム」を「将来の住宅及び産業用地の規模の設定」として修正した。
10	33～35	人口減少に伴い住宅用地が余るという予測があり、予測に従うのではなく、施策を講じて減少を緩和させることをめざす必要があると感じる。 (第2回策定検討会議)	市全体の人口減少の予測がある中でも、住宅地の密度を維持していくことをめざし、将来の市街化区域内の人口密度は現在と同じ水準に維持することを目標値として掲げた。
11	36～38	「4 将来都市構造」の軸については、市内の南北方向の交通量が増えている事を踏まえて設定した方が良い。また、南北方向の幹線道路は緑の拠点や中心拠点・生活拠点を結ぶ軸としての役割を担っていると感じる。 (都市計画審議会・庁内意見)	南北方向の路線である（都）印場線、稲葉線、玉野川森林公園線を「暮らし環境軸」として位置付けた。
12	43～	「第4章 まちづくりの方針」の構成が、行政側目線のまとめ方になっており、まちづくりの目標を達成するために、どのような方針が設定されているのか市民に分かりづらく、目標とのつながりが明確でない。 (第2回策定検討会議)	「まちづくりの目標」の各目標に対してどのような方針を掲げ、どういった取組を行うのか一目で分かるように表示した。 45ページ以降の方針の記載方法は、「方針－主な取組－取組項目」など、強弱をつけて記載し、市民への伝わりやすさと読みやすさを意識した。
13	43～	目標Ⅲ「緑・水辺」には、環境負荷の低減につながるまちづくりの方針を記載した方が良い。 (第2回策定検討会議)	目標Ⅲを「緑・水辺・環境」に修正し、方針4「環境負荷の少ない都市空間をつくる」を設定した。
14	44～	「第4章 まちづくりの方針」は全体を通して文字量が多く、視覚的にも市民には分かりづらい。図やイラスト、説明を加えて、市民の理解しやすさを意識した方が良い。 (第2回策定検討会議)	「第4章 まちづくりの方針」の構成を見直し、市民への伝わりやすさを意識した構成、内容に修正した。 また、計画書全体のレイアウトなどのデザインにも取り掛かっている。
15	全体	計画書全体を通して市民が読みにくく、尾張旭市の魅力が伝わってこないため、効果的な見せ方などの工夫が必要。 (第2回策定検討会議)	計画書全体を通し、図、写真、イラスト、グラフの見やすさを修正し、コラム記事などによる補足説明を加え、市民への伝わりやすさを意識した。 また、計画書全体のレイアウトなどのデザインにも取り掛かっている。